

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和2年度第2回河内長野市環境審議会
2 開催日時	令和2年10月9日(金) 午後2時～午後4時半
3 開催場所	501会議室
4 会議の概要	1. 令和元年度環境報告書について 2. 河内長野市の環境に関する生徒アンケート調査結果について 3. 環境基本計画素案について 4. その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 環境経済部 環境政策課 環境政策係 (内線 450)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和2 年度 第2 回河内長野市環境審議会議事録

日時：令和2年10月9日 14時～16時30分

場所：河内長野市役所501会議室

■出席者

【委員】10名

- ・花田 真理子（会長）：大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科（W e b 参加）
- ・浦出 俊和（副会長）：摂南大学農学部食農ビジネス学科（W e b 参加）
- ・堀切 修平：大阪府森林組合南河内支店（W e b 参加）
- ・吉田 顕：河内長野ガス株式会社
- ・竹田 義：公益財団法人河内長野市公園緑化協会
- ・中西 弘幸：日本農薬株式会社総合研究所
- ・木之下 純子：エコライフかわちながの
- ・堀 泰明：NPO 法人森林ボランティアトモロス
- ・辻 常男：公募
- ・槌野 弘文：公募

【事務局】5名

- ・上田 浩史：環境経済部 環境政策課 課長
- ・西 一志：環境経済部 環境政策課 課長補佐
- ・山口 昌宏：環境経済部 環境政策課 主幹兼環境政策係長
- ・竹林 雄：環境経済部 環境政策課 主幹兼環境保全係長
- ・山中 良太：環境経済部 環境政策課 環境政策係副主査

【アセス㈱】3名

■欠席者

【委員】1名

- ・古久保 勲：関西電力株式会社大阪支社 東大阪コミュニケーショングループ

■議題

1. 令和元年度環境報告書について
2. 河内長野市の環境に関する生徒アンケート調査結果について
 - ・ごみに関する市民アンケート調査結果との比較
3. 環境基本計画素案について
4. その他
 - ・河内長野市気候非常事態宣言に関する決議への対応について
 - ・地方と連携した地球温暖化対策活動推進事業への応募について（環境省）
 - ・COOL CHOICE への賛同登録について

■議事

1. 令和元年度環境報告書について

花田会長

次回の会議からは、前回の会議でこういった意見が挙がって、それに対してどう対応したかが分かる資料を作成していただきたい。

堀委員

環境指標の「水質の汚濁に係る環境基準の維持・達成を目指す」についてだが、実施内容を見ると達成しているように思えるが、非達成となっている理由は何か。

浦出副会長

前回の会議で挙げた意見を踏まえて、対応したものと対応できていないものを明確にしていきたい。また、対応できていないものについては、今後対応していく予定なのか、対応することはできないのかも明確にしていきたい。

2. 河内長野市の環境に関する生徒アンケート調査結果について

浦出副会長

市内在住の回答者と市外在住の回答者がほぼ同数であることから、両者の意識の違いを把握してみてはどうか。また、学区等による意識の違いを把握してみてはどうか。

浦出副会長

問7 で市民アンケート調査結果との比較を行っているが、別々にグラフを作成するのではなく、1つのグラフにまとめていただきたい。

浦出副会長

問8 の自由回答のうち、環境に関係のない意見については除外してもよいのではないか。

花田会長 問8 の自由回答については、意見内容でグルーピングをしてみてもどうか。

堀委員

問1 の性別の回答結果へのコメントについてだが、「男性」と「女性」の2項目であることから、「最も高く」や「次いで」といった表現に違和感がある。

竹田委員

問8 の自由意見を見ると、ボランティアに対する参加意識が高いように感じることから、若者が色々なボランティアに参加しやすい仕組みづくりを検討していただきたい。

花田会長

問2 の回答結果を見ると、「環境に関する学習の機会や情報の多さ」に対する満足度は低くなっており、また参加意向も高くないことから、機会の拡充や参加の意義等について情報発信を行っていくことが望まれる。

浦出副会長

「学習」と「体験」という表記の違いによっても、回答割合に違いがでるように思う。

中西委員

問8 の自由回答についてだが、環境に関する意見の選定やグルーピングといった意見が挙がっているが、全てが環境教育に資する情報であることから、このまま全ての回答を市のホームページやSNS 等で発信しても良いのではないかと思う。

辻委員

問2 の回答結果を見ると、「まちの清潔さ」に対する満足度が最も低くなっているが、ごみのポイ捨てなどはマナーの問題だと思う。

3 . 環境基本計画素案について

花田会長

非常に多くの取り組みが掲げられているが、これらは上位計画等で位置づけられているものなのか。実際に進捗を図っていくことが可能な取り組みなのか。

花田会長

SDGs の目標17 だけでなく、目標11 も全ての環境目標に関連することから、環境目標5 に追加すべきである。または、目標11 と目標17 については、各目標に関連付けるのではなくて、共通なものとして別枠で表現をしてみてもどうか。

浦出副会長

計画の進捗状況の評価に資する環境指標が設定されていないが、こういった考えなのか。計画の進捗状況を評価していく上で必要ではないか。

槌野委員

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）と地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の対象ガスを統一することはできないのか。

槌野委員

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の取り組みでは「温室効果ガス排出量の算定、点検・評価」となっているが、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の取り組みでは「温室効果ガス排出量の点検・評価等」となっているが、算定は行わないのか。

槌野委員

取り組みとして、「公共施設における環境性の高い電気の調達」とあるが、もう少し具体的に記載できないのか。

浦出副会長

取り組み全般についてだが、「検討します」という表現が多いように感じるため、可能な限り「実施します」に変更するなど、再度検討いただきたい。

花田会長

例えば、取り組みの「今後、新設や改修を予定する公共施設への太陽光発電設備の導入

を検討します」など、新設の公共施設に関するものについてはより具体的な内容に変更できないか再度検討いただきたい。一方で、取り組みの「公共交通ネットワークの整備を検討します」などについては、より具体的な内容に変更することは困難であるように思う。今後10年間を対象とした計画であることから、可能な限り実行性のある計画にできればと思う。

堀委員

全ての取り組みが同じ位置づけで記載されていることから、今後必ず実施するものとそうでないものとを少し区別してみてはどうか。また、今後必ず実施していく取り組みについては、担当部署名や団体名など、実施主体を可能な限り記載してはどうか。さらに、実施を担っていただく団体等については、計画書に掲載するにあたって、事前に調整を行ったおくことが望ましい。

辻委員

市内の現状を踏まえると、リサイクル率が低いように感じるが、どのようにして算出しているのか。

浦出副会長

リサイクル率の向上を図っていくために、ごみの分別などのライフスタイル自体を見直していく必要がある。

花田会長

「COOL CHOICE」だけではなく、循環型社会の形成に係る市独自のライフスタイルのあり方を掲げてみてはどうか。

3

発言者 意見

木之下委員

計画の推進体制についてだが、河内長野市と、市民・事業者、また次世代を担っていく中学生・高校生などの若年層がより連携・協働していくための組織のようなものがあればよいと思う。

4. その他

浦出副会長

COOL CHOICE 宣言を行うことや、COOL CHOICE の普及啓発に向けた環境省の補助事業に応募することについては特段問題ないものとする。それならば、計画書にも、COOL CHOICE 宣言の内容や補助事業に関する内容を記載してみてはどうか。また、気候変動非常事態宣言も行うのであれば、計画書には、決議の内容ではなく、その宣言内容を掲載すべきであるとする。

中西委員

COOL CHOICE 宣言などを行うのであれば、その内容についてSNS 等を活用して、

中学生・高校生にも広く情報発信していただきたい。

浦出副会長

本日の会議で、委員の皆様が全ての意見を発言できていないことから、事務局の方に後日意見を提出していただければと思う。その意見を踏まえて、計画書に可能な限り反映いただいたものを再度確認させていただきたい。

花田会長 それでは、10月20日までに事務局の方に意見を提出していただきたい。

※次回予定 令和2年度第3回環境審議会 令和2年1月下旬